

**第 29 回能美市地域公共交通会議
議事録**

日時：平成 31 年 1 月 21 日（月）10：00～11：30

場所：能美市役所本庁舎 1 階 大会議室

参加者：

	所 属	氏 名	備 考
学識経験者	金沢大学理工研究域地域社会基盤学系・系長	高 山 純 一	会長
議会	総務常任委員会委員長	田 中 大 佐 久	欠席
市民又は 利用者代表	辰口地区町会長会 会長	山 本 徹	
	寺井地区町会長会 会長	東 方 俊 一 郎	
	根上地区町内会長会 会長	吉 田 良	
	北陸先端科学技術大学院大学 総務課長	柴 田 裕 司	
	石川県立寺井高等学校 教諭	森 田 久 俊	欠席
	能美市老人クラブ連合会 会長	田 中 悠 紀 夫	
	能美市婦人団体協議会 顧問	田 中 玉 美	
事業者	能美市 P T A 連合会 副会長	山 岸 千 恵	
	小松バス（株） 専務取締役	新 谷 良 二	
	加賀白山バス（株） 取締役社長	茜 栄 成	
	一般社団法人石川県タクシー協会 常務理事	宮 崎 芳 信	新任
行政	国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局 首席運輸企画専門官	木 村 幸 典	
	石川県企画振興部新幹線・交通対策監室 交通政策課 主幹	今 村 友 紀 枝	
	石川県南加賀土木総合事務所 維持管理課長	本 多 巖	欠席
	寺井警察署 交通課長	村 本 寛 之	
	能美市 副市長	細 川 喜 孝	副会長
	能美市 企画振興部長	橋 場 和 彦	
	能美市 産業建設部次長兼土木課長	喜 多 邦 夫	
能美市 健康福祉部福祉課長	川 本 素 子		
事務局	能美市 企画振興部地域振興課長	中 出 真 弓	
	能美市 企画振興部地域振興課主任	長 田 史 彦	
	（株）計画情報研究所 取締役	四 藤 一 成	
	（株）計画情報研究所 研究員	千 徳 信 好	

■議事

1. 開会

【司会（中出）】：

皆様おはようございます。今日出席予定の委員が皆さんおそろいなので、若干早いですが、ただいまから第29回能美市地域公共交通会議を始めさせていただきます。先月に引き続きということで、足元が悪い中、またご多忙の中お集まりいただきまして、ありがとうございます。本日も地域振興課中出が司会進行を務めさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

会場の席についてですが、本日はスライドを使っての説明を行いますので、この席順にさせていただきます。ご了承下さい。まず、お手元にあります資料の確認をさせていただきます。まず、能美市地域公共交通会議の会議次第。次に設置要綱、委員名簿、座席表になります。それから本日の資料としまして、A4の資料1と右上に書いてあるもの、A3の資料2と書いてあるもの、そして最後に能美市公共交通ガイドを準備させていただいております。

それではお手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。最初に、当会議の開催に先立ちまして、能美市細川副市長より一言挨拶を申し上げます。

【細川副市長】：

皆様おはようございます。本日は雪が降って足元が悪い中ご参集いただきまして、ありがとうございます。先だって新聞に、全国で路面電車が見直され、乗客数が増えているとの新聞記事がありました。今、市で能美市の観光戦略というものを策定しておるのですけれど、能美電が残っていれば大きな観光資源になっていたのかなぁと思いながら記事を見ておりました。しかし、能美電も昔は能美市民の重要な足でありましたが、今はのみバスが能美市民の重要な足でございます。しっかりと内容を拡充して将来にわたって残していくということが重要なのだと思います。後ほど事務局の方から今日の議題の中で一番大きなものとしまして、以前実施させて頂いたアンケート調査を踏まえまして、のみバスの路線の拡充ということの説明させていただくことになっております。

実は今のみバスは6台態勢で運用しておりますが、再編案では1台増やしまして7台態勢で路線の拡充をするということになっております。ただ、7台態勢にすることにより平成31年度の当初予算も少し増額するという形になっております。この概要につきましては議会にもまだ説明をしてございませんので、本日の内容につきましてはご配慮をお願いしたいと思います。

100%全ての人々が満足するような施策や取り組みというものは、なかなかないものだと思います。特に地域公共交通の世界では殆どあり得ないのだろうと思います。毎回毎回きちんと見直して、よりベターなものへと整備していくということが大事なのだろうと思います。そういうことも踏まえまして、委員の皆様には今日、色々ご議論頂ければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

【司会（中出）】：

ありがとうございました。続きまして、当会議の会長であります金沢大学の高山純一教授よりご挨拶をお願い致します。

【高山会長】：

会長を仰せつかっております、金沢大学の高山でございます。能美市は平坦な所が多いため普段は自

転車を利用するような方であっても、今日のようにちらちらと雪が降ると、自転車での移動はちょっと難しく、そうなるとバスというものは重要な移動手段の一つとなってくると思います。恐らく、普段からバスに対して「あまり乗客が乗っていないな」、「空気を運んでいるのではないかな」と考えている市民の方は非常に多いと思います。しかしいざという時、或いは、ちょっと足を挫いて車も自転車も運転が難しい時に利用できる代替の交通手段があるというのは非常に豊かな社会なのです。その地域に長く根ざす、住むということを考えると、これからはそういう社会を作っていくということが非常に重要なことなのだと思います。能美バスも平成 20 年からスタートしてちょうど 10 年が経ちます。10 経ったところで、今副市長のお話にもありましたように大幅な見直しをしようということで、昨年から各委員の方々にはずいぶん色々なご議論をいただいていると思っております。そういう意味からすると、今回の議論では非常に重要な内容を含んでおりますので、色々な角度からきっちり内容の確認をいただいて、ご意見を頂戴できればと思っております。どうかよろしくお願い致します。

【事務局（中出）】：

ありがとうございました。協議事項に入る前に、新任の委員の方をご紹介します。お名前をお呼び致しますので、ご起立後、ご着席下さい。13 番になります、一般社団法人石川県タクシー協会常任理事の宮崎芳信委員です。よろしく申し上げます。

【宮崎委員】：

おはようございます。今ほどご紹介いただきましたが、タクシー協会で常任理事をしております、宮崎といいます。この会議には臨時ということで途中交代で入ってきました。初めての会議でありますので、よろしくお願い致します。

【事務局（中出）】：

ありがとうございました。なお本日、2 番の能美市議会総務常任委員会委員長の田中委員と、7 番の石川県立寺井高等学校教諭の森田委員、そして、16 番の石川県南加賀土木事務所維持管理課長の本多委員は所用のため本日は欠席となっております。

それでは、これ以降の議事進行については、当会議の設置要綱に基づき、高山会長に申し上げます。

【高山会長】：

それでは本日の協議事項は 2 件ございます。協議事項第 50 号、加賀白山バス株式会社、特例生活路線・川北線の土日祝日ダイヤ廃止及び一部ダイヤの変更について、事務局より説明をお願いします。

—事務局より資料説明—

- ・資料 1 加賀白山バス(株) 特例生活路線・川北線（路線バス）の土日祝日ダイヤ廃止及び一部ダイヤの変更について

【高山会長】：

ありがとうございました。ただ今事務局からこの路線の土日祝日ダイヤ廃止の説明がございましたが、何かご意見、或いはご質問があればお願いしたいと思います。一部ダイヤの変更も含めて、何かございますか。

この路線は始発から終着まで乗ると、バス料金はいくらくらいするものなのでしょうか。

【事務局（加賀白山バス(株) 坂上支配人)】：

400 円前後だったと思います。400 円から 500 円の間だったと思います。

【高山会長】：

金沢駅から金沢大学に行くよりも結構高いですね。金沢駅から金沢大学までの運賃も高いと思いながら 360 円なのですけれども。分かりました。他に何かございますか。よろしいですか。それでは特にご意見がないようですので、協議事項第 50 号については承認するというにしたいと思います。どうもありがとうございます。

それでは続きまして、協議事項第 51 号、平成 30 年度のみバスの再編に向けた検討事業、のみバスの再編内容について、事務局より内容の説明をお願いしたいと思います。

－事務局より資料説明－

- ・資料 2 平成 30 年度 のみバスの再編に向けた検討事業
のみバスの再編内容について

【高山会長】：

どうもありがとうございました。今事務局から説明がありましたように、前回のこの会議で再編の基本的な考え方、基本方針についてはお認めいただいたかなと思っております。その基本方針に従って、バスルートの変更案、それからダイヤもお示しし、バス停の移設も含めて詳細に説明をいただきました。

本会議に先立ち、12 月 19 日に本会議と同じ会場に各地区連合会の会長のこの委員の方や市民利用の代表、バス事業者の代表にお集まりいただき、意見交換会を開催しました。その席上では、概ねこの案でいいのではないかというご意見でした。特に、これまでは連携バスの 1 便当たりの運行所要時間が少し長かったが、再編案では現行ダイヤに比べて約 10 分短縮され、速達性が担保されたのはよいのではないか。或いは平日の日中ですが、1 時間に 1 本というパターンダイヤ化をして非常に分かりやすくなったのではないか。さらには、増便されること、待ち時間が最大 30 分以内程度で乗継ができるようになって利便性が向上すること、そういうところに対しては非常によい評価をいただけたと思っております。ただ、全てが肯定的な意見ではなく、例えば最近外国人の労働者や観光客が増えたが、そういう人たちに対してどうやってこの再編案を PR、分かりやすく示すのかという課題があるのではないかというご意見がありました。また、再編案での運行開始までの 1 年強の間にどうやってこの案を市民に周知すればよいのか、という意見があったと思います。これらも含めていかがでしょう、何か全体を通じてご意見があればうかがいたいと思います。木村専門官、いかがでしょうか。この案をお聞きになっての感想でも結構ですので、いかがでしょう。

【木村委員】：

石川運輸支局の木村です。私も能美市のバスには以前から関係していることもありまして、なかなか複雑なルート設定をされているなという感想を昔は持っておりました。ただ、社会的な情勢はどんどん変わっていきますし、それに合わせてこういった形でどんどん見直しをされて最適なルートの選択、最初のお話にもありましたようなベターな選択というものは必要かと考えております。そういう意味で、

よい方向に進んでいるのではないかと考えております。

あと、付け足しになるのですが、国土交通省、国としまして一番重要視しておりますのが、国民の安心安全、特に安全ということで以前から何度も申し上げております。コミュニティバスのルート設定に当たりましては、バス停留所の乗降場所における安全の確保、また、コミュニティバスが細い道路を通行する際の安全面も確保された上でのルート設定というものを進めていただきたいと思いますと考えております。

【高山会長】：

ありがとうございました。それでは石川県の今村主幹、いかがでしょうか。

【今村委員】：

石川県交通政策課の今村です。今回の再編案を見せていただいて、市民の皆さんからのアンケートに基づいて特に分かりやすい運行時間ということで、パターンダイヤ等を取り入れられた他、通勤通学についても市民の皆様のご意見を取り入れた形で、使いやすい再編案になっているのではないかと思います。この再編を機会に皆さんには利用促進にも市民の協力を得られるような形になっていけばよいのではないかと思います。

【高山会長】：

はい、ありがとうございます。それでは村本交通課長、いかがでしょうか。

【村本委員】：

能美警察署の村本です。再編については市民の足を確保するというので素晴らしいと思います。あと、木村委員がおっしゃったとおり、警察という立場でいうと、やはり利用者の安心安全というのは大事だと思っております。他県の事案ではありますが、公共バスを降りた際にバス停近くに横断歩道があって、降車した利用者が横断しようとして事故に遭ったという事件が報告されております。従って、道路の幅員等にもよりますが、例えば横断歩道の近くや死角の多い場所等にはバス停を設置しないといったことを十分に加味して再編案に加味していただければ警察としてはよいと思います。

【高山会長】：

ありがとうございます。タクシー協会の宮崎委員、いかがでしょうか。

【宮崎委員】：

資料の29ページの「のみバスの再編内容についての意見」というところの8番目なのですが、免許証返納者が急にのみバスを利用するのは難しいと思うので、免許証返納者が安心して利用できるような説明や利用の啓発が必要かと思う、という意見があります。高山会長がおっしゃるように利用しなければ公共交通はなくなるということも含めてなのですが、免許証返納者に対してバスとタクシーチケットやタクシークーポン券を併せたものを配布することもひとつの方法かと思われま。

【高山会長】：

ありがとうございました。小松バス株式会社新谷取締役、いかがでしょうか。

【新谷委員】：

資料があるのならば教えていただきたいと思うのですが、今の運行と新しい計画とは単純比較はできないのかも知れませんが、この再編案によってどの程度の利用増を見込んでいらっしゃるのか、教えていただきたいと思っております。

【高山会長】：

具体的な推計はされたのでしょうか。

【事務局（長田）】：

需要の推計は行っております。現在の利用者数は15万人台後半ですが、再編後は利用者数19万人から20万人への増加を見込んでおります。ただし、これは公式に確定したのではなく、事務局にて推計した数字なので、参考としてお聞きいただけたらと思います。

【高山会長】：

ありがとうございます。意見交換会でもご意見いただきましたけれども、町会長会の会長の委員の方々、或いは老人クラブ連合会の会長の方々も含めて、何かご意見があれば頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。

【東方委員】：

前にも言いましたが、大変よい方向に向かっていると感心しております。ただ、ちょっと気が付いたのですが、日中の循環ルートについて、寺井循環線は8の字型の運行経路になっており、これはなかなかよいパターンだと思います。もし可能であれば根上循環でも、例えば中町で右折して能美根上駅を経由し、そこからはまなすの丘に抜けるようなルートは考えられるでしょうか。これであれば8の字に近い形の運行になるが、一方で根上循環線は1周54分であり、それがさらに長くなることとなります。そのようルートでの運行が可能なのか。もし可能であるなら、道林や山口の市民の方々の利便性の向上につながると思います。

【高山会長】：

ありがとうございます。今新たなご提案があったので、この提案の実現可能性も含めて事務局で今後少しご検討いただければと思います。北陸先端科学技術大学院大学の柴田総務課長、いかがでしょうか。

【柴田委員】：

今回の再編で先端大発便が増えるということで、ありがとうございます。先ほど会長のお話にもありましたが、先端大の学生の半分以上は外国人ですので、再編案の周知に当たっては英語表記でも準備していただけると非常にありがたいと思います。また、具体的なダイヤを検討する段階になった際には、先端大の職員の出勤時間も考慮していただけると、通勤にも利用できると思います。

【高山会長】：

ありがとうございます。英語表記を実施すれば利用者も増えると思いますし、外国人の観光客も来て

いただける可能性もあるかと思しますので、是非ご検討いただきたいと思います。

その他いかがでしょうか。前回ご意見いただいているかと思いますが、山本委員、吉田委員を含めていかがでしょうか。

【山本委員】：

特にありません。意見交換会の際にお話させていただいております。

【高山会長】：

わかりました。

【吉田委員】：

先ほど警察の方からも安全が一番大事と言われましたので、雪が降ったときの対応というものも考えてもらいたいと思います。

【高山会長】：

今年はまだそれほど大雪にはなっておりませんが、2月の初めに向けて可能性はありますし、昨年も1月中旬以降、或いは2月の初めにどかっと降りましたから、まだ安心はできないと思います。ただ、どかっと雪が降ったときに運休にならないように、というのはなかなか厳しい問題があるかとは思いますが。

田中委員、追加でご意見はありますか。

【田中悠紀夫委員】：

追加ということはないのですけれども、私自身はこのアンケート結果を踏まえた再編計画につきましては、スケジュール通りに進めていただければと思います。

【高山会長】：

ありがとうございます。婦人団体協議会顧問の田中委員はいかがでしょう。

【田中玉美委員】：

前回も言いましたけれども、せっかくなのでのみバスを利用してもらえるように、老人会のような市民の団体に対して利用を促進するような説明を行い、少しでも利用してもらえたらと思う。バスを走らせるためには利用してもらうことが一番だと思うので、バスの便利さを感じてもらいたいと、今日は感じました。

【高山会長】：

ありがとうございます。山岸委員、追加で何か意見はありますか。

【山岸委員】：

私も前回の会議に参加させていただき、非常によい再編案だと思うので、このまま進めていただければよいと思います。

一つ、市民アンケートに回答した高校生の親御さんから質問されたのですが、アンケートの結果はどこかで閲覧できるのでしょうか。せっかくアンケートに協力したので、どこかでフィードバックしてほしいという意見があったので、何らかの形で公表してもらうのがよいかと思いました。

【高山会長】：

ありがとうございます。今後パブリックコメントを行う予定になっておりますので、そのパブリックコメントに市民アンケート結果の要約版を記載したいと思います。

実際にバスを運行する加賀白山バスの方、いかがでしょう。大変なご苦労があるのだらうと思います。私事で恐縮ですけれども、昨日、一昨日とセンター入試がありました。監督員の先生には是非体調万全で、インフルエンザにかかるなど指示は出したのですが、残念ながら何人かの先生がインフルエンザにかかれて監督もローテーションを回すなりして大変でした。恐らくバスの運転手の方もインフルエンザにかかりたいと思ってかかる人はいないでしょうけれど、人の中でバスを運転すればウイルスも飛んでくるかと思うのですが、その辺も含めていかがでしょう。

【茜委員】：

今ほどインフルエンザの話も出ましたが、乗務員が少ない中で運行しておりますので非常に頭の痛い状況でございます。予防接種は全員受けさせて何とか対応しております。

こののみバスの再編成でありますけれど、従来から能美市地域振興課の皆様と私共の社員で色々と打合せを行いながら計画を立ててきましたが、まずもって大変なご苦労があったかと思えます。感謝申し上げます。

のみバスの再編のテーマは便利さ、分かりやすさ、速達性ですが、これらについては我々も何とかご協力できるという状況でございます。ご案内の通り、運行車両が1台増えるということでございます。本日の会議の冒頭でダイヤの廃止ということをご提案した中で、運行車両が1台増えるということでございますけれども、何とか効率的な運用、そして採用計画にさらに力を入れ、この再編案を実現させていきたいと考えております。あと、安全安心ということを第一義に考えて取り組んでまいります。またご協力いただくことになると思えますけれども、よろしくお願い致します。

【高山会長】：

ありがとうございます。他にも追加でのご発言があればお受けしたいと思います。

色々ご意見をいただきました。バス路線ももう少し見直しをしていただける可能性があるのであれば、見直しをお願いしたいというご意見もありましたし、バス停での安全性の確保には万全に検討いただきたいというご意見もありました。その他にも色々ご意見がありましたので、それも含めて今後事務局で可能性を探りたいと思います。

特に他にご意見がなければ、今日お示ししたのみバスの再編案についてご了承いただいたということにしたいのですけれど、もしよろしければ拍手でご承認いただければと思います。

【全出席委員】：

－拍手－

【高山会長】：

どうもありがとうございます。それでは、予定していた内容は以上ですが、この際でございますので、他にご要望なりご意見があれば伺いたいと思います。

特にないようですので、本日準備致しました議題は以上でございます。進行を事務局にお返ししますので、よろしくお願ひ致します。

【事務局（中出）】：

皆様、今日は長時間にわたりまして貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。私たちが見直さなければならないことに気付かされましたので、今後また準備して3月の会議でご報告させていただきます。本日はありがとうございました。

以上